

平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち												
施策No.	6	施策名	水産業の振興												
主管課名	農林水産課														
関係課名															
施策が目指す すべがた	<ul style="list-style-type: none"> ・資源管理が行われ、安定した漁獲量が保たれています。 ・漁業の後継者が育っています。 ・魚津の魚が評価され、たくさん消費されています。 														
施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 ・ 民 ・ 所	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、安全で新鮮な地場産食材を利用します。 ・事業者は、沿岸漁業資源を増やす努力や海を資源とした新しい事業(海業)に取り組みます。 													
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業生産基盤の強化と漁業経営の安定化を図ります。 ・水産業の担い手や後継者育成と新規就業者の支援を行います。 ・「安全・安心」「高品質」な水産物の栽培とブランド化や地産地消を図ります。 													
	そ の 他 (地 域)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体(漁協等)と連携して、水産業の振興に努めます。 													
市民意識 調査結果	<施策実感度調査結果>※26年度までは「満足度」 <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.115</td> <td>0.064</td> <td>0.044</td> <td>0.051</td> <td>0.048</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.115	0.064	0.044	0.051	0.048
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度										
0.115	0.064	0.044	0.051	0.048											
<施策重要度調査結果> <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.681</td> <td>0.648</td> <td>0.580</td> <td>0.953</td> <td>0.937</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.681	0.648	0.580	0.953	0.937	
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度											
0.681	0.648	0.580	0.953	0.937											
施策の トータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績							
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	23 (20)	22 (18)	23 (19)	24 (20)	24 (20)							
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	17 (14)	4 (4)	5 (5)	5 (5)	5 (5)							
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	3 (3)	16 (12)	16 (12)	16 (12)	16 (12)							
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	3 (3)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (3)							
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—												
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	44,106	26,877	43,254	150,156	131,352							
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	9,766	6,238	16,218	105,969	100,634							
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	18,640	19,939	26,336	34,087	24,978							
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	15,700	700	700	10,100	5,740							
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—												
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	66	66	68	46	40							
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	6,000	5,940	6,000	4,000	4,000								
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	26,394	24,912	26,292	16,724	16,444								
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	70,500	51,789	69,546	166,880	147,796								
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	995	610	993	3,480	3,076							
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	596	566	604	388	385							
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	1,591	1,176	1,597	3,867	3,461							
	同 上	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111							
参 考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111							
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706							

基本事業概要シート①

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名①	水産業生産基盤の整備強化		
基本事業①の目的(意図)	資源が管理され、安定した漁獲量を維持しています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【栽培増殖振興対策事業】 ・魚介類などの水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイ、アワビ、サザエの種苗を放流しました。 (H28放流量 ヒラメ:8,000尾、クロダイ:12,500尾、アワビ:10,000個、サザエ4,000個)</p> <p>【内水面漁業振興対策事業】 ・河川の水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、アユ、イワナ、ヤマメの種苗を放流しました。 (H28放流量 アユ:110,000尾、イワナ:7,100尾、ヤマメ:5,000尾)</p> <p>【漁港維持管理事業】 ・経田漁港航路に堆積する砂の浚渫工事(V=840m³)と船揚場屋外高压受電設備の改修工事を行いました。</p> <p>【漁港整備事業】 ・「水産物供給基盤機能保全事業」により経田漁港の岸壁保全工事を行いました。(H28実績 3件完了 岸壁L=143m、波除堤L=8m)また、工事に係る実施設計業務1件、基本計画策定業務(水域施設)1件を委託しました。 ・漂砂の埋塞調査(深淺測量、漂砂シミュレーションなど)を行い、浚渫工事を含むこととした機能保全事業計画に変更しました。</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市場での水揚量	t	4,227	5,010	4,775	5,300 3,630	5,300	5,300	5,300	5,300
船揚施設利用船舶数	隻	112	93	91	130 91	130	130	130	130

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 栽培増殖振興対策事業	1,528,000	1,018,000	510,000	A	農林水産課
2	一般会計	○ 内水面漁業振興対策事業	900,000	900,000	0	A	農林水産課
3	一般会計	○ 漁港維持管理事業	8,300,000	7,101,000	1,199,000	A	農林水産課
4	一般会計	○ 水産多面的機能発揮対策事業	1,486,000	1,383,760	102,240	A	農林水産課
5	一般会計	◎ 漁港整備事業	101,287,560	90,230,760	11,056,800	A	農林水産課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			113,501,560	100,633,520	12,868,040		

基本事業概要シート②

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名②	水産経営基盤の整備強化と担い手育成		
基本事業②の目的(意図)	漁業の後継者が育っています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【漁業経営安定対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成を行いました。 ・東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業経営者に経営安定のための支援を引き続き行いました。 ・漁船の新造(第8珠の浦丸 199トン)に対して支援しました。 <p>【漁業振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津漁協が漁業漁業活性化計画に基づいて推進する「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して、引き続き支援しました。 <p>【漁業後継者育成対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者の獲得のための説明会、研修会等の開催に対して支援しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
漁業者数(漁協正組員)	人	220	214	211	230 203	235	240	245	250
ボートヤード利用隻数	隻	73	67	71	80 77	85	90	95	100

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	船員窓口事務	3,000	1,500	1,500	-	農林水産課
2	一般会計	富山県北方領土復帰促進協議会参画事業	130,000	130,000	0	-	農林水産課
3	一般会計	海上保安協会富山県支部参画事業	9,000	9,000	0	-	農林水産課
4	予算なし	あいの風海域沿岸首長会議参画事業	0	0	0	-	農林水産課
5	予算なし	港湾公衆便所管理業務	0	0	0	-	農林水産課
6	一般会計	漁協女性部助成事業	40,000	0	40,000	-	農林水産課
7	一般会計	沖合漁業・出漁団助成事業	71,000	58,480	12,520	-	農林水産課
8	一般会計	魚津港振興会助成事業	200,000	200,000	0	-	農林水産課
9	一般会計	経田漁港振興会助成事業	40,000	40,000	0	-	農林水産課
10	一般会計	水産都市協議会参画事業	8,000	8,000	0	-	農林水産課
11	一般会計	養鯉振興会参画事業	5,000	5,000	0	-	農林水産課
12	一般会計	○ 漁業経営安定対策事業	9,871,000	9,405,771	465,229	A	農林水産課
13	一般会計	○ 漁業振興事業	15,000,000	15,000,000	0	A	農林水産課
14	一般会計	◎ 漁業後継者育成対策事業	600,000	120,000	480,000	B	農林水産課
15	予算なし	漁業許可申請事務	0	0	0	-	農林水産課
16	予算なし	水難救助法事務	0	0	0	-	農林水産課
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			25,977,000	24,977,751	999,249		

基本事業概要シート③

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名③	魚のブランド化と地産地消の推進		
基本事業③の目的(意図)	魚津産魚の料理講習会や給食食材の提供など食育も行いながら、地産地消を推進します。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津のさかなブランド化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地の物産展等に出店し、魚津の魚の「美味しさのPR」、「消費拡大」、「魚津ブランドの確立」等に努めました。 魚津ブランドの定着が進む寒ハギ「如月王」、「パイ飯」について、ブランドの確立と知名度の拡大を図るためのPRや販売活動を行いました。 誘致活動を行ってきた平成29年の「第10回Sea級グルメ全国大会」が、みなとオアシス魚津(魚津港、海の駅曇気楼)で開催されることが決定しました。(開催日等 平成29年10月14日・15日 ○○魚津との併催) <p>【水産資源開発事業】(地方創生加速化交付金)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に引き続き、未利用魚や低価格魚を活用した新商品「アジ天点」の開発、生産設備の導入、これを使用したメニュー開発を行うとともに、販路開拓やPRを行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市場での水産物取扱額	百万円	1,570	1,626	1,571	1,550 1,426	1,700	1,850	2,000	2,150

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	魚食普及事業	180,000	180,000	0	-	農林水産課
2	一般会計	◎ 魚津のさかなブランド化推進事業	500,000	500,000	0	A	農林水産課
3	一般会計	◎ 水産資源開発事業	5,060,000	5,060,000	0	A	農林水産課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			5,740,000	5,740,000	0		

施策評価結果シート

施策No.	6	施策名	水産業の振興
-------	---	-----	--------

平成28年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【①水産業生産基盤の整備強化】 ◆市場での水揚げ量は、定置網漁の不振により、前年比マイナス1,145トンの3,630トンとなりました。 (定置網漁:前年比△1,009トン 魚種別 サバ:前年比△377,992kg、イワシ:前年比△137,458kg、フクラギ:前年比△62,287kg) ◆船揚施設については、平成26年度に若干の増加(93隻)がみられましたが、平成27年度に91隻に減少し、昨年度も同数のままとりました。</p> <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】 ◆漁業従事者は、平成24年度から平成26年度までは増加傾向にありましたが、平成27年度から再び減少に転じ昨年度も減少して203人となっています。 (H26:214人 H27:211人 H28:203人) ◆ボートヤードの利用隻数は、ほぼ横ばいで推移し、目標値に及びませんが、平成26年度から増加傾向にあり、昨年度は77隻(前年比6隻増)になりました。</p> <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】 ◆減少傾向が続いていた水産物取扱額は、平成26年に16億円を超える大幅な増加がありましたが、平成27年は15億7千万円に減少し、更に、平成28年度は水揚量の減少も影響して取扱額が14億2千万円(前年比△1億4千5百万円)まで減少しています。</p>
	<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)</p> <p>【①水産業生産基盤の整備強化】 ＜栽培増殖振興対策事業、内水面漁業振興対策事業＞ ◆ヒラメ、クロダイ、アワビ、サザエの種苗を放流しました。また、河川において、アユ、イワナ、ヤマメの種苗を放流しました。これらは、水産資源の確保、増大や生産性を高めることに役立っています。 (H28放流量 ヒラメ:8,000尾、クロダイ:12,500尾、アワビ:10,000個、サザエ4,000個、アユ:110,000尾、イワナ:7,100尾、ヤマメ:5,000尾) ◆老朽化が著しい経田漁港について、平成26年度から「水産物供給基盤機能保全事業」による岸壁の保全工事を進め、漁港機能の回復や長寿命化が図られました。また、以前から問題となっている港内の砂の埋塞については、漂砂の深淺測量、漂砂シミュレーションを行い、港内の浚渫を同事業に含むこととした機能保全事業計画に変更したことから、平成29年度からは、補助事業による計画的な浚渫工事の実施が可能となりました。 ◆船揚場屋外高圧受電設備の改修工事を行うことで、施設利用の安全が図られました。</p> <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】 ＜漁業経営安定対策事業＞ ◆「魚津市水産業経営安定補助金交付要綱」に基づき、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成、東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業経営者に経営安定のための支援を引き続き行いました。また、漁船の新造(第8珠の浦丸 199トン)に対して支援しました。 ＜漁業振興事業＞ ◆魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて実施している「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人財育成」等の活動に対して支援しました。</p> <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】魚津産の魚介やその加工品をPRすることで、販売促進を図りました。 ＜魚津のさかなブランド化推進事業＞ ◆魚津ブランドの定着が進む寒ハギ「如月王」、「バイ飯」のPRや販売活動に対して支援を行いました。 ＜水産資源開発事業＞(地方創生) ◆平成27年度に引き続き、未利用魚や低価格魚を活用した新商品「アジ天点」の開発、生産設備の導入、これを使用したメニュー開発を行うとともに、販路開拓やPRを行いました。 ◆誘致活動を行ってきた「Sea級グルメ全国大会」が、みなとオアシス魚津(魚津港、海の駅蜃気楼)で開催されることが決定しました。(開催日等平成29年10月14日・15日 ○○魚津との併催)</p>
	<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【①水産業生産基盤の整備強化】 ◆水産資源の保全と確保を図り漁場の生産性を高めるため、種苗の放流を引き続き行っていきます。 ◆経田漁港については、機能保全事業計画に基づき、「水産物供給基盤機能保全事業」を活用して保全工事を進めていきます。また、以前より問題となっている港湾内の砂の堆積については、同事業により計画的に浚渫工事を進めていきます。</p> <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】 ◆厳しい経営環境にある漁業経営者に対して、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成や東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業経営者に経営安定のための支援を引き続き行っていきます。 ◆新造船の建造や漁船への省エネ・省力化設備の導入、また経営等に甚大な被害をもたらす様な災害等が発生した場合には、要綱に基づき支援を行います。 ◆水産業の活性化のため、新規担い手の育成、確保が求められています。引き続き、「漁業後継者育成対策事業」や「一次産業担い手育成事業」を推進していきます。 ◆観光船運航事業は、総合戦略の主要事業に定めており、また新しい「海業」創出の一つに捉えていることから、実証事業を行い各種の基礎的データを収集、分析しながら関係団体等と検討を始めます。</p> <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】 ◆引き続き、品質管理の徹底や魚津産魚介類のブランド化を推進していくため、各地の物産展等へ積極的に参加し、出向宣伝に努めていきます。 ◆「第10回Sea級グルメ全国大会」を平成29年10月14日・15日に、みなとオアシス魚津(魚津港、海の駅蜃気楼)で開催します。大会では、魚津のさかなブランドのほか様々な魚津の魅力年全国発信します。 ◆寒ハギ「如月王」、「バイ飯」、「アジ天点」について、PRや販売促進活動を強力に進め、普及、販売拡大を図ります。</p>

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆水産資源の管理と豊かな漁場づくりなど魚津産の魚介類の確保に努めること。 ◆付加価値の創造(ブランド化、商品開発、6次産業化)を促進し、漁業経営の健全化、安定化を推進すること。 ◆徹底した品質管理のもと、鮮度や安全などを確保したブランド化、6次産業化、高品質化に努めること。 ◆漁業従事者の確保、担い手の育成に努め、漁業の活性化に努めること。 ◆みなとオアシスSea級グルメ全国大会(平成29年10月14日、15日 会場:海の駅蜃気楼)では、みなとオアシス魚津や魚津の魚介類を含めた魚津の魅力を広く全国にPRすること。 ◆観光船運航事業については、当初計画に支障が生じているものの、出来る限り実施し、効果、コスト、体制の在り方、継続性等を関係組織と協議し事業化を目指すこと。
<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆付加価値の創造(ブランド化、商品開発、6次産業化)を促進し、漁業経営の健全化、安定化を推進します。 ◆漁業の活性化のため、担い手の育成や確保に取り組みます。 ◆観光船運航事業について、関係機関と事業の継続性(コスト、体制のあり方等)などを検討します。 ◆魚津港・経田漁港及び周辺地域の賑わい創出について研究します。